

お遍路修行者(その6)

みやたすずむ

十月二十二日(土)から十月二十六日(水)まで四国のお遍路にいつてきました。

お寺が八十八ヶ所あるなかで、四十五所まで巡拝しているので、四十六ヶ所の浄瑠璃寺(じょうるりじ)からです。今回の巡拝は愛媛県ですので、お寺が集中しているの、比較的に沢山巡拝できるところです。今までは、お寺からお寺まで二十kmとか、七十kmも離れている所もありましたので、なかなか巡拝できなかった。

今回の参加者は、鈴木さん、中野さんとわたし、こうして参加者を紹介すると、「フッ」と吹き出す音が聞こえてきそうです。まあこの下りオの事ですから、今までの弥次さん喜多さんに寅さんが加わった様なものですが、いよいよそれよりも寅さんが三人集まった様なもので、その道中のいろいろな事、色々な事。そしてやる事、なす事が、すこしおかしいと言っか、変な事が多い。映画の寅さんだったら根底にヒューマンを感じるのは、この下りオにはそれが今いち欠ける。

いついつ書い、その中でも私は少し

まともに感じる人がおられるかもしれませんが、私もきめての事です、念のためですが。

この日は、四国に渡るすつとすつと手前で迷ってしまい(カーナビを持っていたにもかかわらず)同じような所をグルグル廻っていた、二時間はかり損をってしまった。それでも岡山の倉敷まで走る、ここまで静岡より六〇〇kmでした。

この倉敷までやっとたどり着いた感じで、四国に渡るような元気なところになくなっていった。

今回は日数に余裕があるために、あせりのようなものがない、もう陽が暮れており、晩飯は無理なので、宿の近くの居酒屋にとびこむ。そして今日の反省、明日の計画を綿密に打ち合わせるが、それも最初のうちだけで、酔っにつれて話があらぬ方向に行き、聞いている二人もきつんと聞いているふりをするが、話になにも心の中に残っていない。まあ驚くことはない、いつもの事だから。

その日は早々に風呂につかり、ベッドの中に、この日は部屋が取れない、二人部屋に三人が寝る事に。

“わっ、” “うう、”問題です。

ベッドに寝るふりができず、床に寝たのは誰だったでしょうか。

以下次号



日帰りスキー

「ブランシュタガヤ」

1月22日(日)

担当: 中野

(281-9235)

ゆきんこ初滑りⅡ

12月18日(日)

「小海リエックス」

担当: 石上

(262-7340)

お正月イキ

12月29日夜

～1月2日朝

「高井富士・木島早野沢温泉」

担当: 長島

(296-3078)

東海B

スノーフェスティバル

in

「平湯温泉」

担当: 長島 (296-3078)

くわしくは4月号をみてくださーい!

参加まてま〜す!

新年会

1月4日(水)

新静岡セバの電車の改札口に17:00 集合です。

担当: 宮田

(363-6107)

